

令和2年度第3回区政モニター会議

「北区地域包括ケア推進計画について」

高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画

令和3年度～令和5年度



City of Kita

令和2年12月5日

北区 高齢福祉課

1. 北区がおかれている現状と課題

(1) 北区の高齢者の現状

◆高齢者人口等 (令和2年1月1日現在)

- ・ 総人口 353,908人
- ・ 高齢者人口 (65歳以上) 87,402人
- ・ 高齢化率 24.7%

→ **高齢化率は23区で2番目に高い**

【1位:足立区 24.8% 3位:葛飾区24.5%】

- ・ 後期高齢者人口 (75歳以上) 46,733人

→ **前期高齢者より後期高齢者が多くなった(53.5%)**

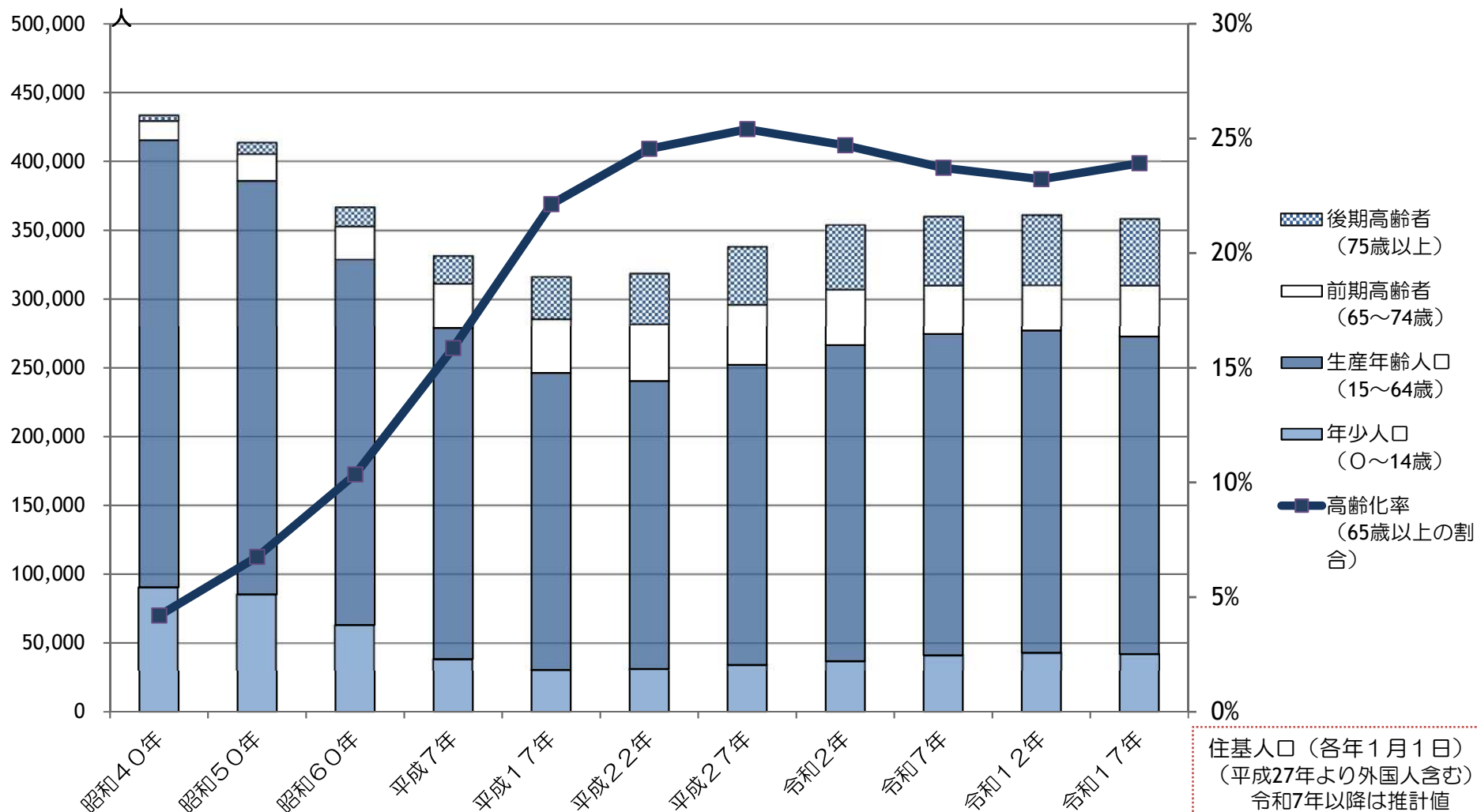
◆一人暮らし高齢者の割合 69.7% (高齢者のみの世帯数に対する割合)

◆地域別の高齢化率(日常生活圏域)

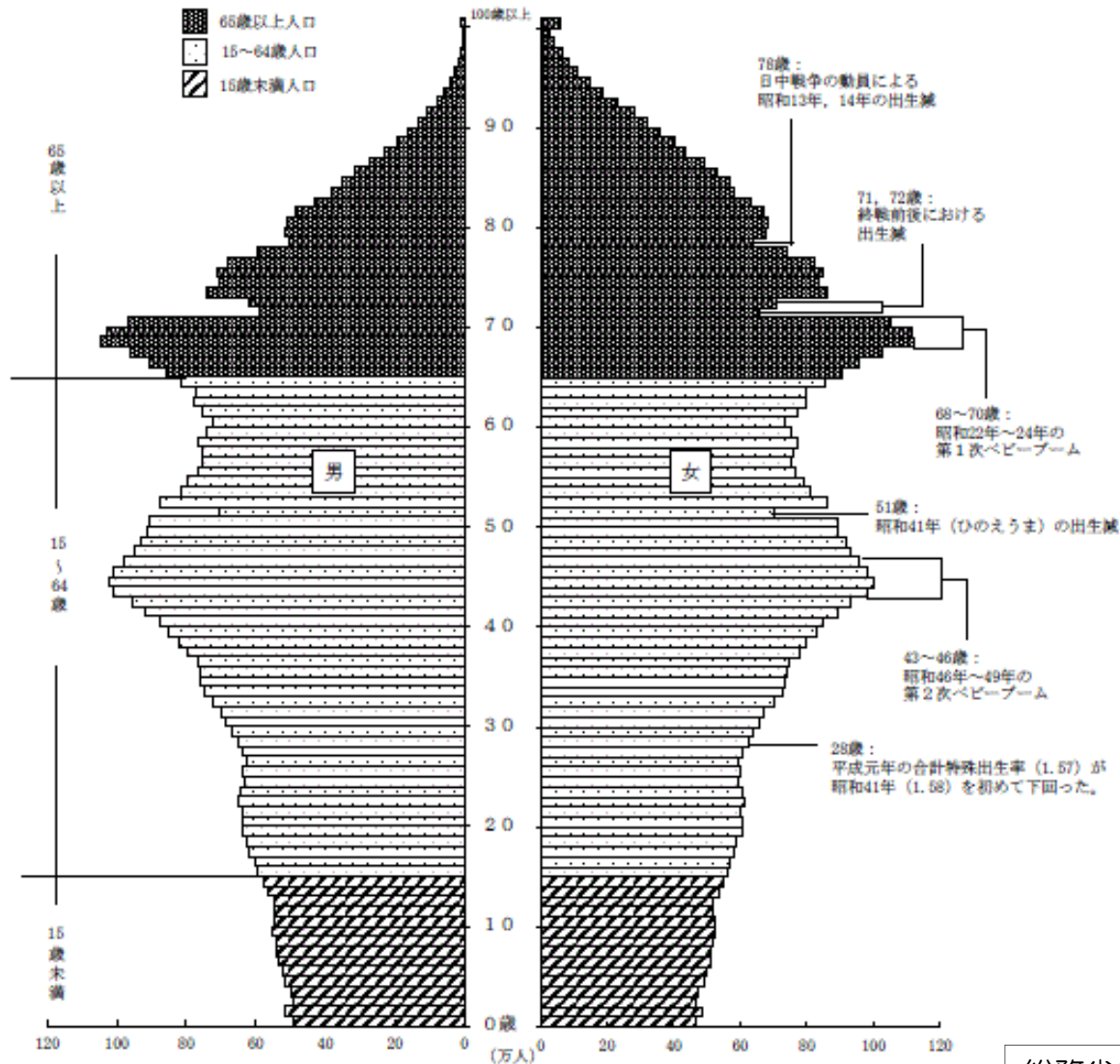
(最高)桐ヶ丘圏域 40.1%、(最低)東田端圏域 15.2%

→ **地域の特色に応じた施策が必要**

◆高齢者人口・高齢化率



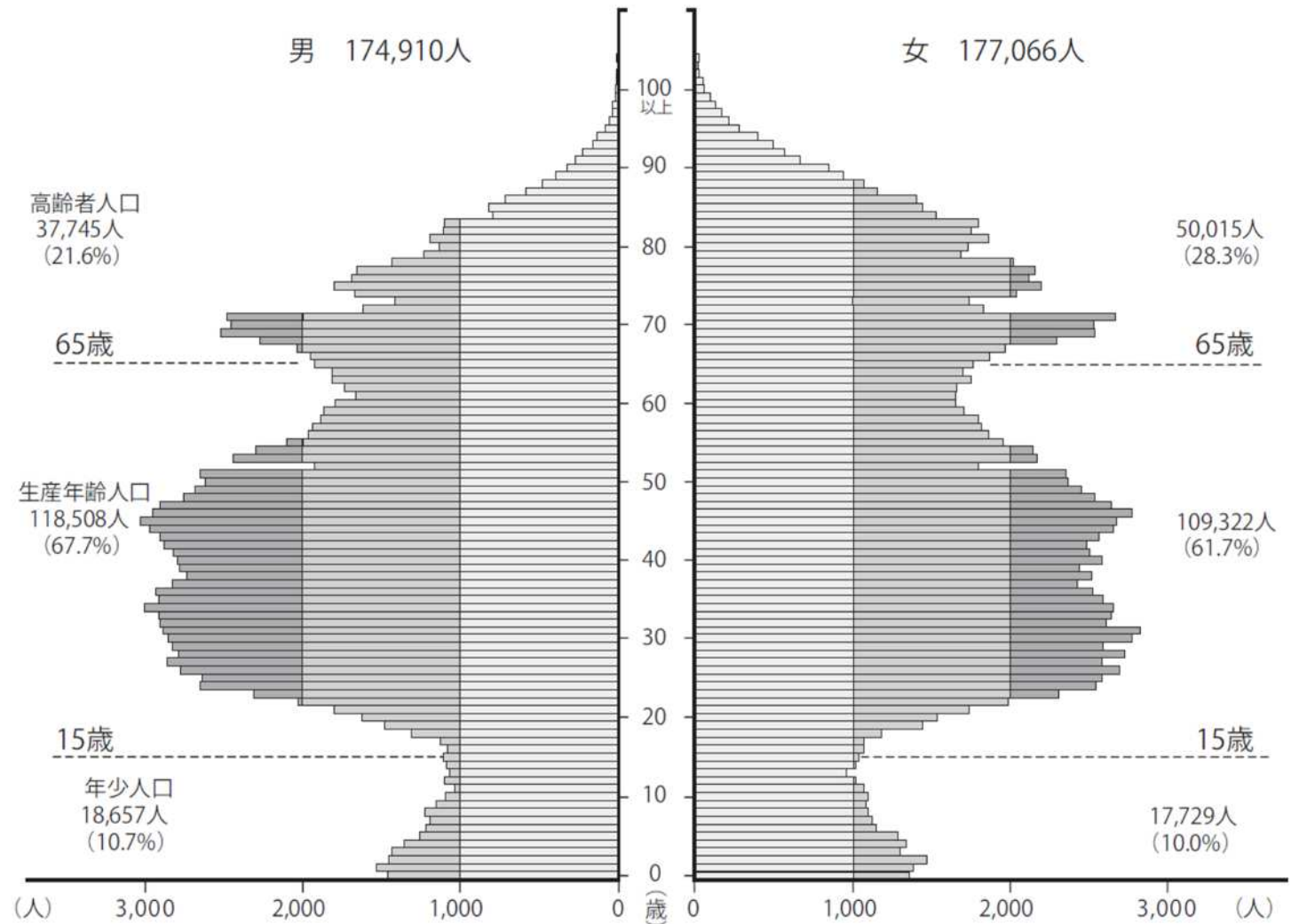
◆我が国の人口ピラミッド (平成29年10月1日現在)



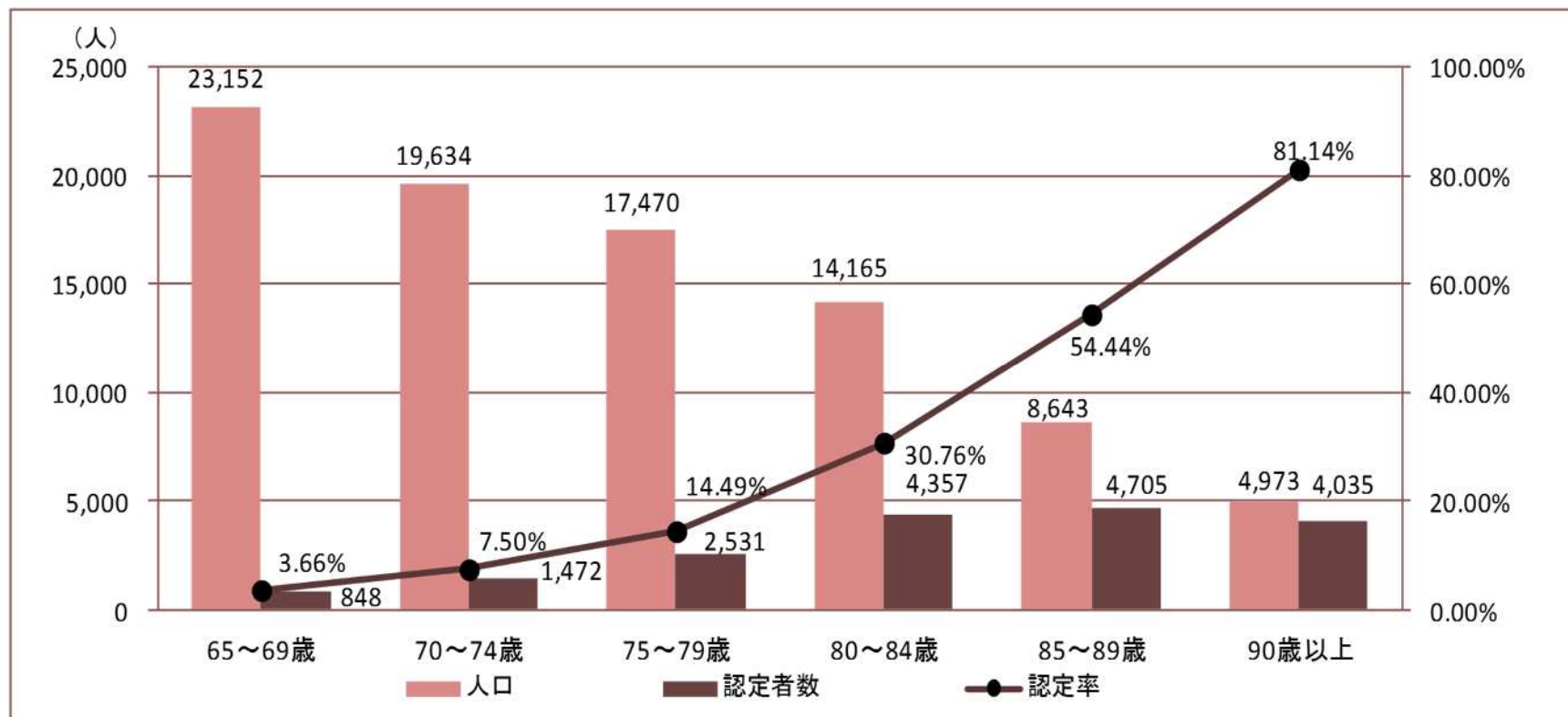
総務省統計局資料

◆北区の人口ピラミッド

総人口 351,976人(平成31年1月1日現在・外国人人口を含む)



◆高齢者の年齢階層別要介護・要支援認定率等

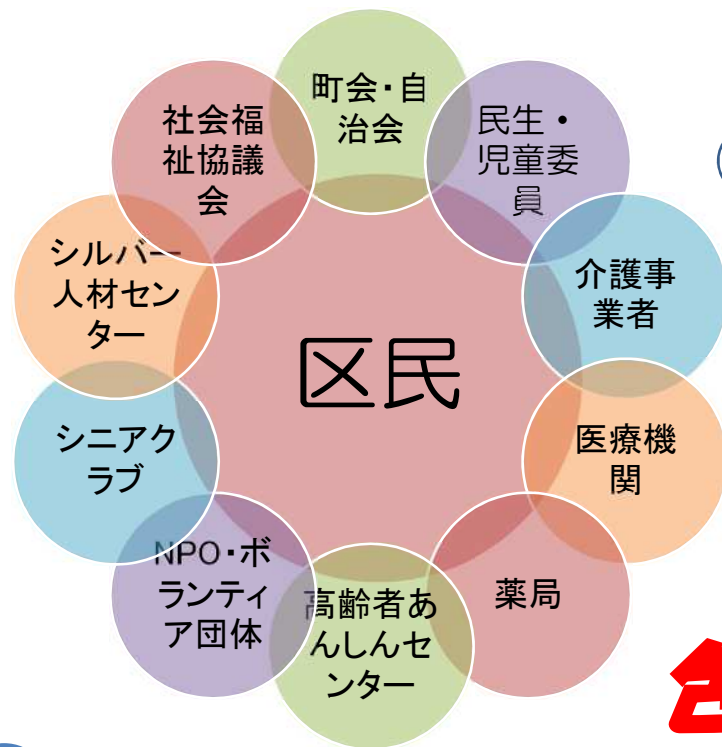


介護保険課資料：平成29年10月1日現在

(2) 高齢者をめぐる課題

① 高齢者を取りまく問題の複雑化・複合化

- 8050問題
- ダブルケア
- ヤングケアラー など



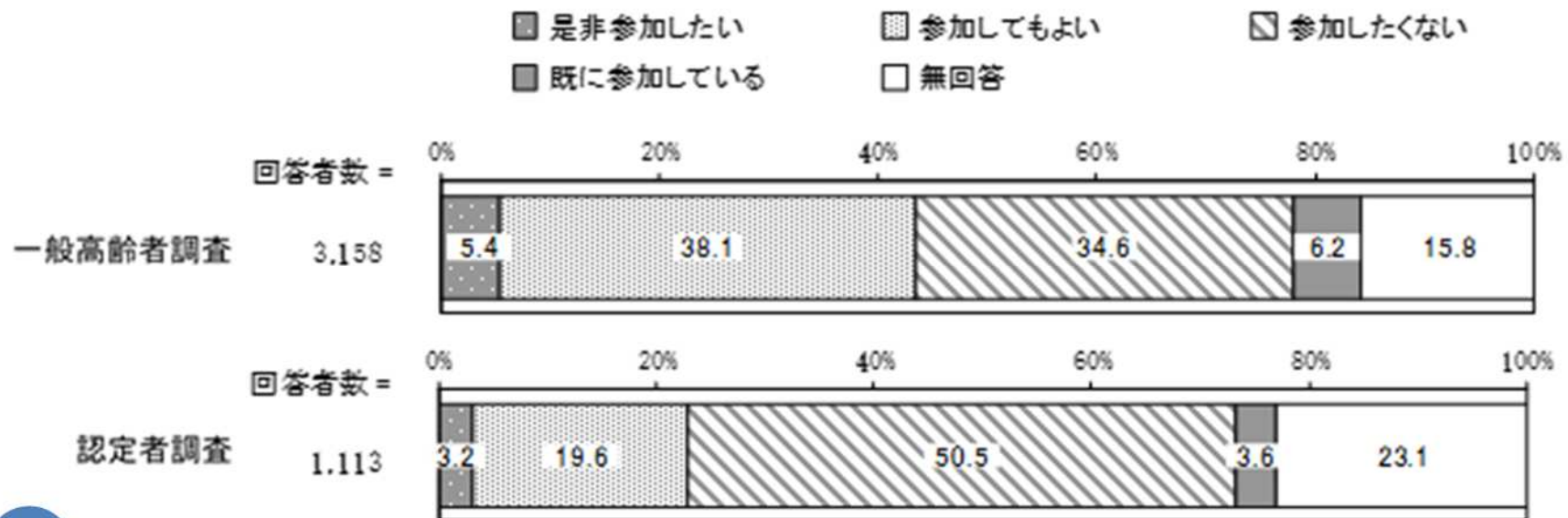
関係機関が点ではなく、線・面で支えることが必要

**関係機関が連携する
包括的な支援体制が必要！**

②いきがい・社会参加の必要性

高齢者が元気で長生きするためには、社会的役割を持つことがよいとされています。役割がある中での高齢者の社会参加が必要です。地域でのグループ活動について「参加者としての参加はしてもよい」が一番多いことから参加がしやすくなるようコーディネートすることが重要です。

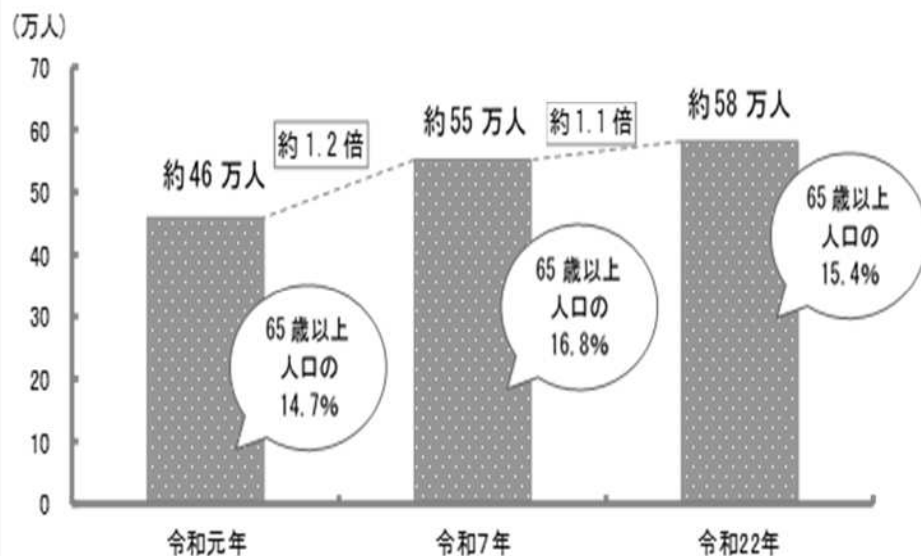
地域でのグループ活動への参加者としての参加意向



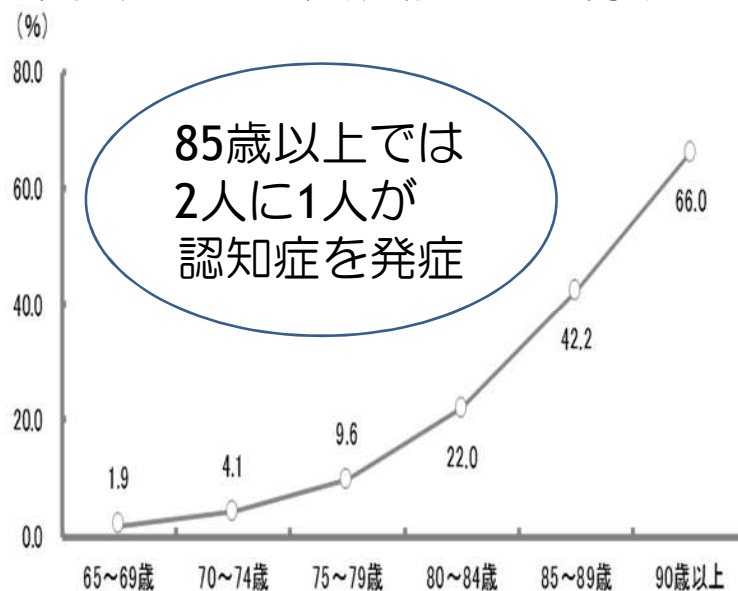
③認知症高齢者の増加

後期高齢者の増加に伴い、認知症を発症する人の数も増加しています誰もが認知症になりうるものであり、多くの人にとって身近なものとなっています。

東京都における認知症高齢者数の推計



東京都における年齢階級別認知症高齢者の割合



さまざまな課題

- ・高齢化率が23区で2番
- ・後期高齢者の増加
- ・要介護(要支援)認定者の増加
- ・ひとりぐらし高齢者の増加
- ・問題の複雑化・複合化
- ・高齢者の役割と居場所づくり
- ・認知症の人の増加
- ・高齢者のいきがい・就労



対応していくには？

**人生100年時代に誰もが輝ける北区を
実現するために...**

北区版地域包括ケアシステム

2. 地域包括ケア推進計画の理念と体系

基本理念

みんなで支え安心してくらしらせる地域づくり

基本方針

北区版地域包括ケアシステムの深化
〜地域共生社会の実現に向けて〜

施策の方向

基本目標 1

一人ひとりが輝くための多彩なネットワークづくり

地域のすべての人々が互いに支え合う体制の充実

多様な地域資源の活用

多世代間の交流による重層的なつながりの創出

基本目標 2

自立して豊かな高齢期を過ごすために

いきがい・役割を実感できる環境の整備

健康寿命の延伸

社会参加・介護予防の促進

基本目標 3

多様な機関の協働による支援体制の充実

高齢者あんしんセンターの機能強化

介護・福祉・医療・保健の連携

基本目標 4

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために

安全・安心の確保

ニーズや実情にあった住まいの確保

福祉人材の確保

在宅生活支援の充実

3. 重点的な取り組み



1. 地域の特色を反映した施策の推進

施策の推進には、地域の実情に応じ策定した取組や目標達成に向け、進捗管理、状況確認とともに、地域課題の改善程度や新たな課題を把握し、取組や目標の修正を検討するPDCAサイクルの円滑な運用が必要となります。

2. 認知症の人や家族の視点を重視した施策の展開

認知症であってもなくても、ともに生きる社会を目指し、尊厳と希望を持って、住み慣れた地域の中で自分らしく暮らすことが出来るよう、周囲や地域の理解と協力のもと、認知症の人や家族の視点を重視した地域づくりを進めていきます。

3. 高齢者あんしんセンターの機能強化

区直営の高齢者あんしんセンターを基幹的な役割を担い、センター間の総合調整や介護予防のケアマネジメント及び地域ケア会議等の後方支援などの機能を有する基幹型センターへ移行し、地域の課題解決に向けて機能強化を図っていきます。

4. 高齢者のいきがい・社会参加の促進

高齢者が「健康や仲間づくり等に興味を持ち、楽しく参加できるための『仕掛けづくり』」と、「主体的な活動により就労や社会参加につながるいきがいづくり」を促進する『仕組みづくり』を支援し、地域の高齢者の社会活動参加を促進します。

4. 北区版地域包括ケアの総合的な展開

基本目標 1

一人ひとりが輝くための多彩なネットワークづくり

1. 地域のすべての人々が互いに支え合う体制の充実
2. 多様な地域資源の活用
3. 多世代間の交流による重層的なつながりの創出



一人ひとりが輝くための多彩なネットワークづくり

＜おたがいさまネットワーク＞



北区おたがいさまネットワーク City of Kita

高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるように高齢者あんしんセンターが中心となり見守り、ともに支えあう取り組みです。

高齢者あんしんセンター
高齢者の総合相談窓口 (一課は異国)

声かけサポーター(ボランティア)
●声かけサービス

協力団体(町会・自治会、社会福祉協議会、医療機関、介護事業者、店舗など)
交流の中での発見・気づき

民生委員
●声かけサービス
日常的な相談

協力機関(警察署、消防署)
消費者被害などの注意喚起

●声かけサービスが受けられます
月2回程度、民生委員または声かけサポーターが玄関先などで声かけを行います。

対象者	お申込み方法
65歳以上の単身者 75歳以上の高齢者のみの世帯の方 かつ在宅生活で不安・孤独・虚脱などお困りの方	地域の高齢者あんしんセンター もしくは民生委員へご相談ください。 申込みに必要なもの 印鑑

＜絵本の読み聞かせ＞



基本目標2

自立して豊かな高齢期を過ごすために

1. いきがい・役割を実感できる
環境の整備
2. 健康寿命の延伸
3. 社会参加・介護予防の促進



自立して豊かな高齢期を過ごすために

＜いきがい活動センター＞



＜介護予防リーダーの会＞



＜健康づくり＞



基本目標3

多様な機関の協働による支援体制の充実

1. 高齢者あんしんセンターの機能強化
2. 介護・福祉・医療・保健の連携



多様な機関の協働による支援体制の充実

＜高齢者あんしんセンターの機能強化＞



＜高齢者あんしんセンター出張窓口＞



＜多職種連携研修会・

顔の見える連携会議の開催＞



基本目標4

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために

1. 安全・安心の確保
2. ニーズや実情にあった住まいの確保
3. 福祉人材の確保
4. 在宅生活支援の充実



住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために

＜救急医療情報キット＞



＜マイエンディングノート＞



＜福祉のしごと総合フェア＞



5. 北区認知症施策推進計画

- 令和元年6月に国がまとめた「認知症施策推進大綱」に基づき、認知症施策をさらに推進するため、北区地域包括ケア推進計画と一体的に策定することとしました
- 認知症は誰もがなりうるものであり、家族や身近な人が認知症になることなどを含め、多くの人に身近なものとなっています。認知症への社会の理解を深め、認知症があってもなくても、同じ社会の一員として地域とともに創っていくことが必要です。



北区認知症支援キャラクター
「こんちゃん」

認知症施策の推進 ～認知症施策推進計画～

1. 普及啓発・本人発信支援
2. 予防（備え）・社会参加
3. 医療・ケア・介護サービス・
介護者への支援
4. 認知症バリアフリーの推進・
若年性認知症の人への支援・
認知症の人の権利

認知症に関する正しい知識を普及するために

＜中央図書館ブックフェア＞



＜北区認知症あんしんなび＞





ご清聴ありがとうございました



計画についてご意見がございましたら
令和3年1月8日(金)まで
パブリックコメントを実施しておりますので
是非ご意見をお寄せください

グループ討議

時間配分（約60分）

- | | |
|------------------------|-----|
| 1. 進め方説明・個人ワーク（フセンに書く） | 10分 |
| 2. グループ討議・発表準備 | 30分 |
| 3. 発表 | 20分 |

～地域包括ケアシステムを進める・深めるために～

テーマ 安心してくらせる地域とはどのような地域か
高齢者の社会参加をすすめるには

1. 個人ワーク・グループ討議 40分

視点① こんなことがあったらいいな

視点② ①を実現するために必要なもの

2. グループ発表 20分

1グループ2分程度

高齢になっても安心してくらせるために 社会参加をすすめるために

個人ワーク

10分

視点① こんなことがあったらいいな ⇒ 青色のフセン

少し手助けが必要な身近な人や将来の自分を思い浮かべて・・・ (例)

- こんな手助けがあったらいいな
- こんな集まりがあったらいいな
- 自分のスキルを発揮できる場
- 実例の紹介

高い所の
電球交換を
してほしい

一人でも気軽に
立ち寄って
おしゃべり
できる場所

視点② ①を実現するために必要なもの ⇒ 赤色のフセン

- ヒト・モノ・場所など

(例)

- それぞれのテーマごとに
1~2個記入してください
- 1つのふせんに意見は
ひとつ記入してください

近所でちょっと
したお手伝い
ならできる

空き店舗や
空き家

話し相手に
なってくれる人

高齢になっても安心してくらせるために
社会参加をすすめるために

グループ内での意見発表

視点① こんなことがあったらいいな ⇒ 青色のフセン

10分

- 進行役の左隣の方から、時計回りに発表してください
- 発表したフセンは、模造紙の欄に貼ってください
- 意見を1つ発表したら、次の人に交代してください

高齢になっても安心してくらせるために
社会参加をすすめるために

グループ内での意見発表

視点② ①を実現するために必要なもの ⇒赤色のフセン

10分

- 進行役の右隣の方から、反時計回りに発表して下さい
- 発表したフセンは、模造紙の欄に貼ってください
- 意見を1つ発表したら、次の人に交代してください

高齢になっても安心してくらせるために 社会参加をすすめるために

発表準備

10分

- みなさんの意見をふまえ、グループとしてぜひ実現出来たらいいね、というアイデアが出ましたら、**緑色のフセン**に記入して、模造紙の下側の中央あたりに貼ってください
- 発表者の方は、どのような意見が出たか発表できるように準備をお願いします

高齢になっても安心してくらせるために
社会参加をすすめるために

20分

2. 発表

1グループ 2分くらい

グループ討議と発表ありがとうございました

●高齡福祉課長のコメント

●質疑応答

今後の予定

● パブリックコメントの実施 ～令和3年1月8日（金）

● 北区地域包括ケア推進計画公聴会

12月	5日（土）	午後2時～	赤羽文化センター
12月	7日（月）	午後6時30分～	北とぴあ
12月	9日（水）	午後2時～	滝野川会館
12月	15日（火）	午後6時30分～	浮間ふれあい館

● 計画策定 令和3年3月